

洪水

知識と備え
保存版
すぐに取り出せる所に
保管して下さい。

ハザードマップ (南部版)



昭和29年 巨勢川(巨勢小学校付近)

洪水ハザードマップ(避難地図)について

この地図は、筑後川、早津江川、城原川、巨勢川、佐賀江川、八田江、嘉瀬川、本庄江、福所江等が大雨によって増水し、堤防が破堤した場合の浸水予想結果に基づいて、浸水する範囲とその程度、ならびに各地区の避難所を示した地図です。

水害のおそれがある時には、市から避難情報が出されますので、速やかに避難してください。大雨による災害が発生する場合や状況が日頃から把握し、雨の状況等に注意して、危険を感じたら早めに自主的な避難を心がけてください。



令和6年(2024年) 3月増刷

問い合わせ先一覧

■気象関係		
名 称	電 話 番 号	
佐賀地方気象台	0952-32-7026	
■行政関係		
名 称	電 話 番 号	
佐賀市役所	(代)0952-24-3151	
〃 諸富支所	(代)0952-47-2131	
〃 大和支所	(代)0952-62-1111	
〃 富士支所	(代)0952-58-2111	
〃 三瀬支所	(代)0952-56-2111	
〃 川副支所	(代)0952-45-1111	
〃 東与賀支所	(代)0952-45-1021	
〃 久保田支所	(代)0952-68-2111	
佐賀県庁	(代)0952-24-2111	
国土交通省 筑後河川事務所	(代)0942-33-9131	
国土交通省 武雄河川事務所	(代)0954-23-5151	
国土交通省 佐賀河川事務所	(代)0952-41-8801	
■災害拠点病院		
名 称	電 話 番 号	
(地独)佐賀県医療センター好生館	0952-24-2171	
佐賀大学医学部附属病院	0952-31-6511	

用意していますか？ 非常持ち出し品

定期的に携行品の点検をしましょう

● 体温計・常備薬・マスク・消毒液

● 懐中電灯・ろうそく・ライター

● 缶切り・ナイフ・おもひじり・ビニール袋・リュックサック

● 救急医薬品・お薬手帳・筆記用具

● ラジオ・予備の乾電池

● 飲料水・食料(保存がきき、加工せずに食べられるもの2〜3日分)

● 現金・印かん・預金通帳
有価証券書類等の貴重品

● 下着・毛布・タオル
ティッシュペーパー

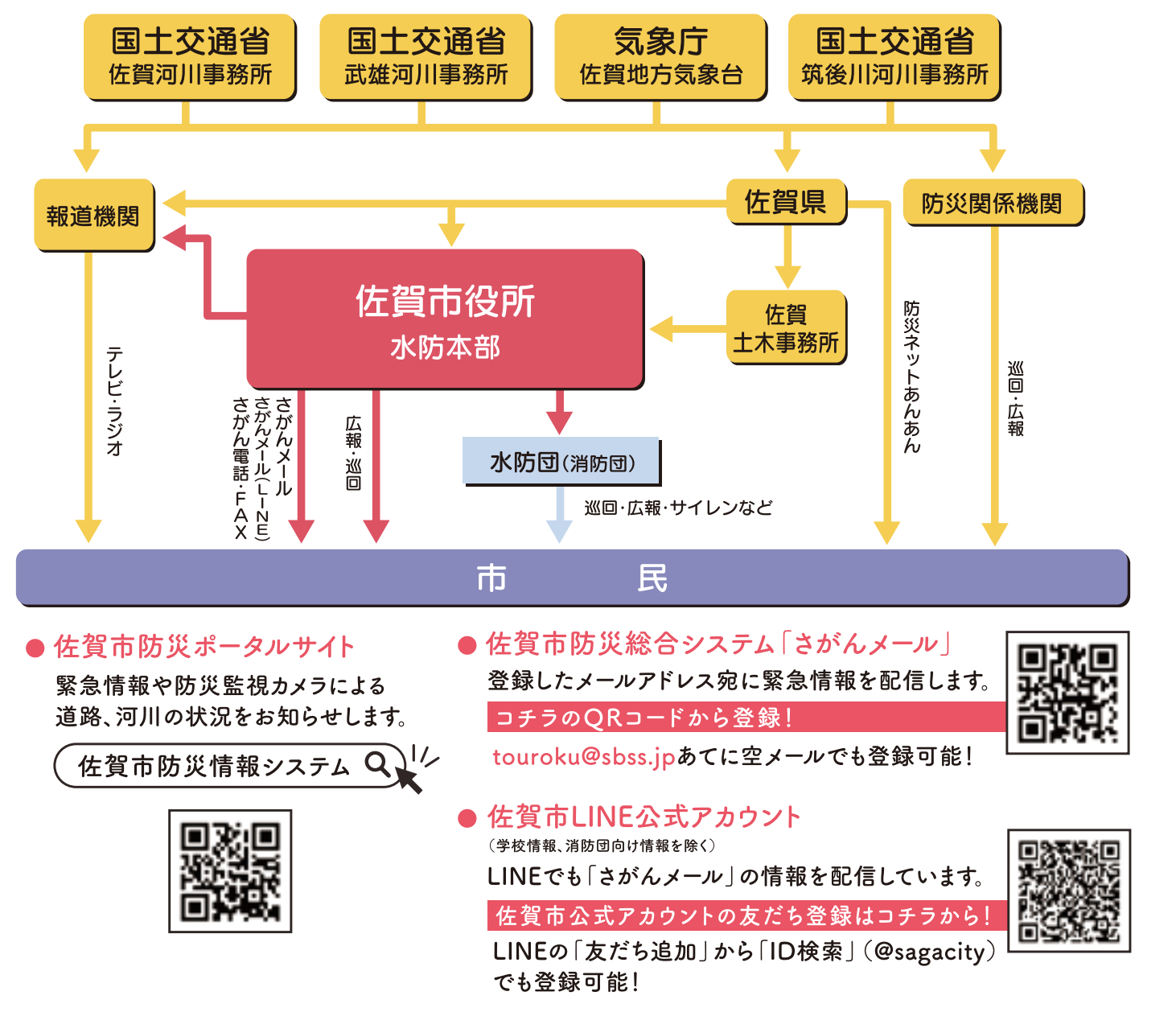
集中豪雨・台風
そんな時の用意に
これだけは
忘れないで！

災害情報について

日頃から災害情報に注意し、「もしも…」の時に備えてください。

気象情報の伝達方法

災害に結びつく重要な気象情報(大雨特別警報、大雨・洪水警報、大雨・洪水注意報)や、市からの避難情報は、次のとおり伝達されます。



災害時の緊急連絡について

災害時には、多くの人が電話を利用するため、電話が繋がりにくくなります。そのような場合にNTTが設置する「災害用伝言ダイヤル」を利用して家族や友達などの連絡に役立てましょう。

■使用方法
ガイダンスに従って操作

録音 1
再生 2
録音 3
再生 4

171
をダイヤル

被災地の電話番号(市外局番から)

0 9 5 2 - 4 - × × × × ×

伝言(再生)の時間は1件あたり30秒です。
また伝言の保存はサービス終了までで、一つの電話番号について最大20件まで録音できます。

■災害用伝言ダイヤルに関する詳しい情報は、下記ホームページにてご確認ください。

<https://www.ntt-west.co.jp/dengon/>

※携帯電話、NTT以外の通信事業者の電話からのご利用については、ご契約の各通信事業者にお問い合わせ下さい。

災害の予備知識

あらかじめ災害に対する知識を蓄え、迅速に行動できるようにしましょう。

避難時に注意すること

単独行動は危険なため、複数人で行動するようにし、警察、消防、水防団(消防団)の指示には従いましょう。

服装に注意

- 動きやすい服装にしましょう。
- 長靴は水が入ると動けなくなるため、運動靴等にしましょう。

家の戸締まりに注意

- 避難の際は、ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切り、戸締りを行いましゅう。
- 避難時の持ち出し品は必要最小限になるようまとめましょう。

状況の変化に注意

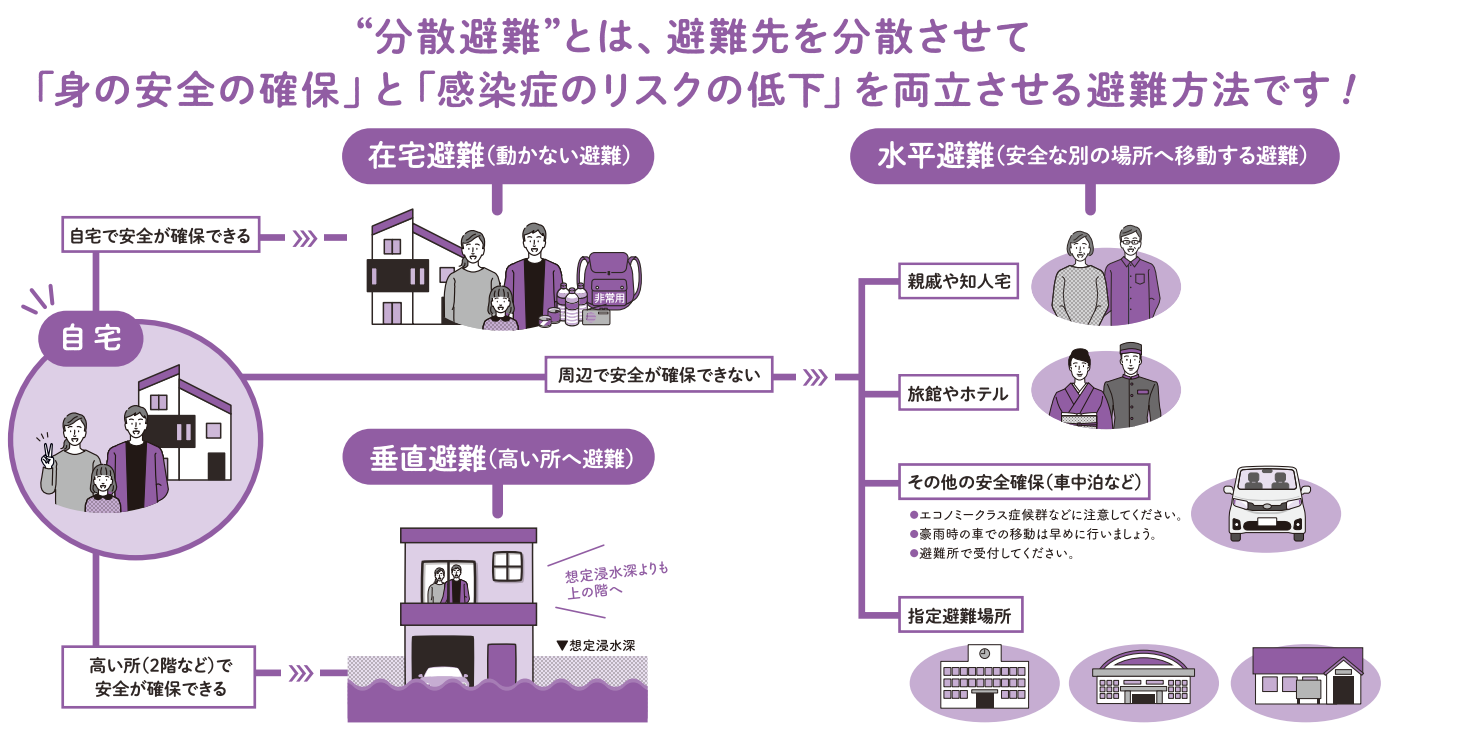
- 不安を感じたら早めに避難しましょう。
- 特に、高齢者・子ども・身体に障がいのある方がお住まいの世帯では、早めの避難が必要です。
- 避難するときは、1人で行動せずに、近所の人達と声を掛け合い一緒に避難しましょう。

荷物に注意

- 持ち出す荷物は最小限にしましょう。
- 避難時の荷物はリュックなどに入れ、できるだけ両手が空くようにします。

身の回りの安全に注意

- 徒歩で避難しましょう。車を使つての避難はかえって危険があります。
- 1人での夜間の避難は危険です。できるだけ明るいうちに避難しましょう。
- 浸水している場所の家さきに注意しましょう。水深50cm以上になると歩行は困難になります。
- 浸水している場所を歩くと、滑るなど足元を確認しましょう。
- 飛来物に注意しましょう。



災害の状況に応じて最も適した避難行動を取りましょう！

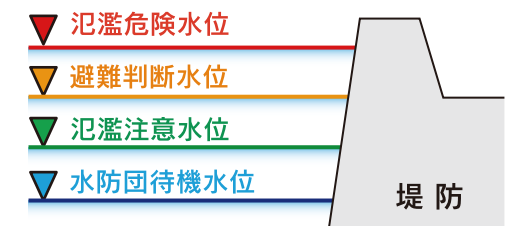
避難に関する情報について

水害のおそれがある場合、テレビ・ラジオや市の広報車などで避難の呼びかけをしますので、速やかに避難してください。

避難情報種類	警戒レベル3 高齢者等避難	警戒レベル4 避難指示	警戒レベル5 緊急安全確保
発令の基準	避難判断水位に到達し、かつ、今後の雨量等を勘案し、1時間後に氾濫危険水位以上の水位上昇が見込まれる場合	氾濫危険水位に到達し、かつ、今後の雨量等を勘案し、1時間後に越水・破壊が見込まれる場合	災害が発生または切迫している状況、即ち居住者等が身の安全を確保するために立退き避難することがかえって危険であると考えられる状況に発令。
河川名〔量水標〕	避難判断水位〔m〕	氾濫危険水位〔m〕	
筑後川〔瀬の下〕	6.80	7.10	
城原川〔日出末橋〕	3.50	4.32	
巨勢川〔学校橋〕	3.70	3.96	
佐賀江川〔江上〕	2.80	2.89	
八田江〔船津〕	3.10	3.30	
嘉瀬川〔川上〕	4.80	5.70	
本庄江〔今重橋〕	2.91	3.10	
福所江〔福所江門〕	2.30	2.61	
嘉瀬川〔徳方〕	6.70	8.70	
避難情報の目安	- 災害が発生するおそれがある状況、即ち災害リスクのある区域等の居住者等が危険な場所から避難するべき状況に発令。 - 災害が発生又は切迫している状況、即ち居住者等が身の安全を確保するために立退き避難することがかえって危険であると考えられる状況に発令。		
とるべき行動	- 高齢者等は危険な場所から安全な場所に避難(立退き避難又は屋内安全確保)する。 - 高齢者等以外の人にも必要に応じ、行動の外出を控えるなど普段の行動の見合わせ、家族等との連絡、非常持ち出し品の確認など避難の準備をし、自主的に避難する。 - 危険な場所から全員速やかに避難(立退き避難又は屋内安全確保)する。 - 自宅・施設等及び近隣で直ちに身の安全を確保する。(洪水や高潮の場合は少しでも高い場所へ、土砂災害の場合は少しでもがけから遠いところへ移動する)		

降雨情報と河川水位情報の留意点

河川の水位情報のイメージは右図の通りです。その時点の総雨量や、その後の降雨量の予測等から河川水位の上昇を予測し、自主的な避難を判断する事が重要です。



避難行動要支援者の安全のために

高齢者・障がい者・傷病者・妊産婦・乳幼児・外国人など災害時に正確な行動をとりにくい方を「避難行動要支援者」と言います。このような人々を災害から守るために皆さんで協力できるようにしましょう。

高齢者・寝たきりの方のために

日頃の備え
避難の際に必要な道具を揃えておき、使えるようにしておきましょう。

災害時には
避難の際は必要となる道具を揃えておき、使えるようにしておきましょう。

避難時には
避難の際は必要となる道具を揃えておき、使えるようにしておきましょう。

避難時には
避難の際は必要となる道具を揃えておき、使えるようにしておきましょう。

肢体の不自由な方のために

日頃の備え
避難の際に必要な道具を揃えておき、使えるようにしておきましょう。

災害時には
避難の際は必要となる道具を揃えておき、使えるようにしておきましょう。

避難時には
避難の際は必要となる道具を揃えておき、使えるようにしておきましょう。

避難時には
避難の際は必要となる道具を揃えておき、使えるようにしておきましょう。

耳が不自由な方のために

日頃の備え
避難の際に必要な道具を揃えておき、使えるようにしておきましょう。

災害時には
避難の際は必要となる道具を揃えておき、使えるようにしておきましょう。

避難時には
避難の際は必要となる道具を揃えておき、使えるようにしておきましょう。

避難時には
避難の際は必要となる道具を揃えておき、使えるようにしておきましょう。

知的障がいのある方のために

日頃の備え
避難の際に必要な道具を揃えておき、使えるようにしておきましょう。

災害時には
避難の際は必要となる道具を揃えておき、使えるようにしておきましょう。

避難時には
避難の際は必要となる道具を揃えておき、使えるようにしておきましょう。

避難時には
避難の際は必要となる道具を揃えておき、使えるようにしておきましょう。

目が不自由な方のために

日頃の備え
避難の際に必要な道具を揃えておき、使えるようにしておきましょう。

災害時には
避難の際は必要となる道具を揃えておき、使えるようにしておきましょう。

避難時には
避難の際は必要となる道具を揃えておき、使えるようにしておきましょう。

避難時には
避難の際は必要となる道具を揃えておき、使えるようにしておきましょう。

内部障がいのある方のために

日頃の備え
避難の際に必要な道具を揃えておき、使えるようにしておきましょう。

災害時には
避難の際は必要となる道具を揃えておき、使えるようにしておきましょう。

避難時には
避難の際は必要となる道具を揃えておき、使えるようにしておきましょう。

避難時には
避難の際は必要となる道具を揃えておき、使えるようにしておきましょう。